

日本応用地質学会  
岩盤分類再評価研究小委員会（第二期）

## 第3回議事録

平成20年4月23日

1. 日 時：平成19年4月23日(木)10:00～12:30
2. 場 所：応用地質学会事務局
3. 出席者：平野、伊東、遠藤、村上（代理）、小熊、桑原、品川、都築、本間、綿谷、山本、江口（敬称略）  
計12名
4. 資 料：
  - ・議事次第
  - ・資料3-1 委員名簿（080422 修正）
  - ・資料3-2 第二回議事録（案）
  - ・資料3-3 目次対応表
  - ・資料3-4 骨子案
  - ・資料3-5 執筆要領案
  - ・資料3-6 貯水池内の崖錐堆積斜面における崖錐堆積物の分類と土質強度定数の設定について（話題提供）
5. 議 事：
  - 5-1 新委員の承認について  
宮下委員の後任として、全会一致で本間委員を承認した。
  - 5-2 前回議事録の確認  
誤字脱字等を修正することとした。
  - 5-3 技術書執筆骨子について  
幹事より執筆骨子および作業分担の説明があり、それについて以下の議論があった。
    - ・複数名が担当して執筆する項目については、別紙 執筆分担案（修正）の通り執筆リーダーを設けることとし、執筆リーダーを中心に細部の目次構成を作成することとした。
    - ・次回の小委員会までに、各分担の細項目レベルの目次案を作成することとした。
    - ・構造物基礎の岩盤分類について、ダム、橋梁、原子力基礎の項目毎に目次構成をあわせるべきかという提案があったが、当面は目次構成をあわせることにこだわらず執筆を進めることとした。
    - ・各工種の岩盤分類のレビューについては、第2章で一括して行うこととした。
    - ・構造物基礎の岩盤分類については管理についても書ける部分については書く方針とする。

#### 5-4 技術書執筆要領について

委員長より技術書執筆要領の説明があり、審議の結果以下のように修正した。

- ・ 図表番号は執筆分担を考慮し、4桁（例：図 1.1.1.1）とする。
- ・ 技術書の句読点は、カンマ・ピリオドではなく、句点・読点で記載するものとする。
- ・ 原稿に使用するソフトはMicrosoft Wordとし、バージョンは2003とする。
- ・ エクセル等で表を作成し添付する場合は、拡張メタファイルで添付することとする。
- ・ 文体についてはとりあえず「である調」で書くこととする。
- ・ 修正した要領案と原稿フォーマットを作成し、委員に配布する。

#### 5-5 話題提供

幹事より貯水池内の崖錐堆積斜面における崖錐堆積物の分類と土質強度定数の設定について話題提供があり、それについて以下の議論があった。

- ・ 事例ではN値からの換算で $c$ もしくは $\phi$ を求めているが、現地で密度調整したサンプルで試験を行うとN値からの換算値より大きい値となることが多い。
- ・ 現況安全率を1.0とした逆算法ではあるが、その位置づけで整理すれば、新たな分野における地盤分類として技術書に掲載可能であると考えられる。

#### 5-6 次回の開催について

次回の開催は平成20年6月12日（木）14:00から学会事務局で行うこととした。

また次回は、伊東委員、綿谷委員より話題提供を行うこととした。

以 上